

# 令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会報告書

## 【 総合的な学習の時間 】

所 属 名 学校教育課  
職名・氏名 指導主事 工藤 治

### 【報告書のポイント】

- ・「各学校において定める目標」、「目標を実現するにふさわしい探究課題」、「探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力の設定」が各学校において確実に設定されているか実態を把握する必要があること。
- ・学校として、既に十分な実践経験が蓄積され、毎年実施する価値ある単元計画が存在する場合でも、改めて目の前の児童生徒の実態に即して、単元づくりを行う必要があり、教材研究が大切であること。
- ・総合的な学習の時間を改善する場合、児童生徒から集めた総括的な評価や職員へのアンケートを踏まえ、全体計画、年間指導計画、単元計画のどこを見直すかを考えて、次年度に向かうことが大切であること。

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会

## 小中学校・総合的な学習の時間部会

令和5年11月21日（火）

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官  
国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官  
齋藤 博伸・加藤 智

## 今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開



総合的な学習の時間に係る計画的基本的な考え方や具体例、学習指導及び総合的な学習の時間を推進するための体制づくりなどについて、わかりやすく解説するとともに、優れた実践事例を取り上げた資料です。

	<p><a href="#">今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開(小学校編) (令和3年3月) (PDF:58.6MB)</a></p>	(冊子版) 株式会社アイフィス 1,650円
	<p><a href="#">今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開(中学校編) (令和4年3月) (PDF:22.3MB)</a></p>	(冊子版) 株式会社アイフィス 1,650円
	<p><a href="#">今、求められる力を高める総合的な探究の時間の展開(高等学校編) (令和5年3月)(PDF:17.5MB)</a></p>	(冊子版) 株式会社アイフィス 1,925円

The screenshot shows the second chapter of the guide, titled '具体的な学習時間の展開' (Implementation of Learning Time). It includes sections like '具体的な学習時間の展開' (Implementation of Learning Time), '単元計画作成の具体的手順' (Specific procedures for creating unit plans), and '3. 三つの視点から生徒の変りゆきを想い描く' (Imagine and depict changes in students from three perspectives). The guide provides practical examples and illustrations to help teachers create effective unit plans.

具体的に総合的な学習の時間を進めるためには、学習指導要領、解説、本書を見ながら行うことで、より深い教材研究を行うことができます。学校訪問等の機会に積極的に学校に紹介していただきたいところです。

## NHK Eテレコンテンツ「ドスルコスル」より

<https://www.nhk.or.jp/school/sougou/dosurukosuru/>



「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」で取り上げている「エネルギー」等の事例が取り上げられています。単元づくりの実際について具体的に考えることができます。

総合的な学習の時間での実践例を、テーマごとに紹介。

第1回＆第2回「地域社会」、第3回＆第4回「エネルギー」、第5回＆第6回「食」、

第7回＆第8回「伝統文化」、第9回＆第10回「キャリア」、第11回＆第12回「地域経済」、

第13回＆第14回「自然共生」、第15回＆第16回「高齢者福祉」、第17回＆第18回「防災」、

第19回＆第20回「多文化共生」

## 単元を構想する（今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）p.97～）

単元とは、課題の解決や探究的な学習活動が発展的に繰り返される一連の学習活動のまとまりという意味である。単元計画の作成とは、教師が意図やねらいをもって、このまとまりを適切に生み出そうとする作業に他ならない。単元づくりは、教師の自律的で創造的な営みである。**学校として既に十分な実践経験が蓄積され、毎年実施する価値のある単元計画が存在する場合でも、改めて目の前の生徒の実態に即して、単元づくりを行う必要がある。**

単元計画の作成は、大きく次の二つに分けることができる。  
まずははじめに単元を構想する。  
次に単元の計画を具体的に書き表す。実際には、二つの作業を行きつ戻りつして望ましい単元計画を作成していくことが大切である。

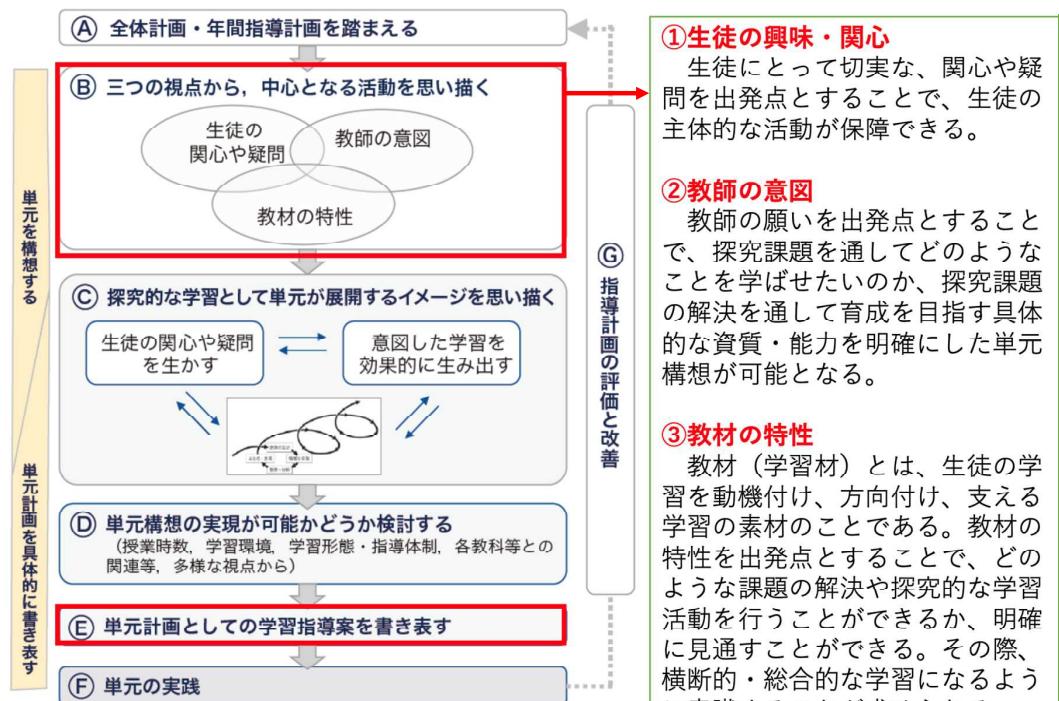


図1 単元計画作成の手順チャート

5

## 三つの視点から生徒の姿を思い描く



### <単元名>

「未来の人も豊かな暮らしをするために  
～エネルギー問題について考え、自然環境と共生を目指す～」（第2学年50時間扱い）

<単元の概要> 現在の豊かな暮らしの背景にあるエネルギーの問題に向き合い、未来の世代にも豊かな暮らしを残すための取組として、自宅でできる節電や地域が一齊に消灯する活動などを実施し、エネルギーの問題に対する自己の考えを形成していく。

<探究課題> エネルギー問題と、限りある資源を未来の世代に残すための取組（資源エネルギー）

## 三つの視点から生徒の姿を思い描く

### 生徒の興味・関心

昨年度の取組や社会科見学において、化石エネルギーや再生可能エネルギーを利用した発電の意義について考えたこと、興味を抱いたこと、疑問をもったこと、やってみたいことなど、生徒に芽生えた関心や疑問を生かす。

昨年度は、自然環境の調査と保全について取り組んだ。今年も、実態を調査し、その改善に向けた取組をしていきたい。



この地域でも、太陽光パネルを設置しているところが増えているけど、自然環境への影響はないのかな？



社会科見学で、エネルギー問題の解決に取り組む仕事があること分かった。どんな思いで仕事に取り組んでいるのか知りたい！



生徒のこれまでの学習や、興味・関心の実態を把握する

前単元までに高まっている生徒の興味・関心を、活動の様子の観察、感想などの振り返りから把握する。

自発性

能動性

児童生徒とともに課題を作っていくことは大前提としながらも、先生があらかじめ、どのような方向で考えていくか、どのような活動が考えられるかを考えいかなければ、学習活動を質の高いものにすることはできません。



教師（総合担当）

生徒は、自然環境とエネルギー問題の共生についての興味・関心を高めているようだ。身近に感じ、自分事として考えられることを大切にした単元を考えよう。

7

### 教材研究

## 三つの視点から生徒の姿を思い描く

### 教師の意図

次に、どのような力を育てたいのか、全体計画や年間指導計画を基に考え、中心となる学習活動を具体的に思い描いた。



教師（総合担当）

生徒の興味・関心を生かすためにも、地域課題とも関連付けて、探究できるように単元を考えましょう。

8  
具体性  
双方向性



担任A

そうですね。このままだと、社会科見学で見聞きしたことだけで終わってしまうから、自分事として資源エネルギーを考えられるようになってほしいですね。



担任B

興味や疑問がたくさん沸いているのだから、対象は地域だけに限定しない方がいいと思います。広い視野で考えられるように、世界の取組も踏まえて考えていくようにすると、「そうだったのか！」って納得しそうです。



担任C

全体計画では「エネルギー問題と、限りある資源を未来の世代に残すための取組」を探究課題にしているから、学年全体で実践したり、地域にも協力してもらったりすると、継続的な取組になりそうです。

どんな資質・能力を育てたいのか？  
全体計画や年間指導計画を踏まえて、探究課題の解決を通して、どのような資質・能力を育てたいのか、具体的に考える。

9  
指導性

授業のイメージを学年で共有する  
大まかな指導のイメージを学年会等で話し合い、共有しておくことで、協働的な単元計画の作成につなげる。

その単元で、どのような資質、能力を育てようとしているかを前提に、そのためどのように教えたいか、誰と出会わせたいかなど、教師の指導性を發揮することがポイントです。

## 三つの視点から生徒の姿を思い描く

### 教材の特性

次に、「節電」という**教材の価値**について分析した。エネルギー問題と向き合い、関わり続けようとする単元を構想することによって、**学び得る内容や、豊かな体験**が可能であるかなど、教材の特性を明らかにした。



担任A この地域には、**太陽光パネル**が多く設置されています。自然環境の保全の観点からの工夫や課題から、**電気エネルギー**を生み出すための発電の**必要性や持続性**に迫られるのではないかと思います。



担任B そうですね。いろいろな発電方法がある中で、**太陽光発電のメリットやデメリット**を考えることができそうですね。



担任C **太陽光発電の設置業者や、エネルギーの自給自足に取り組む人へ**インタビューをする活動もできるかもしれません。



担任A **自分たちでできる節電方法**に取り組んだり、節電に対する意識を**地域に広げ**、多くの人に**節電を呼びかける**こともできそうです。



担任B 活動に対する**地域アンケート**を行い、その集計結果から活動の**メリットやデメリット**から**有効性や今後の取組**を考えることができそうです。

教師（総合担当）

そうですね。全体計画を見たり、**「節電」が教材としてふさわしいか、ウェビングなどで確認してみましょう。**

**教材と出合う姿を思い描く**  
生徒が、専門家や地域の人々との関わりを深め合う姿を思い描くことで、**単元の中心的な活動**を明確にする。

**教材がふさわしいかをウェビングで確かめる**

中心の教材を「節電」としたとき、**教材としての広がり**があるか、どのような**対象**が考えられるか、どのような**活動**が考えられるかを予測する。

**多様性**

9

## 三つの視点から生徒の姿を思い描く

### 教材の特性

#### 教材がふさわしいかをウェビングで確かめる

中心の教材を「節電」としたとき、教材としての広がりがあるか、どのような対象が考えられるか、どのような活動が考えられるかを予測する。

#### 具体的で発展的な教材

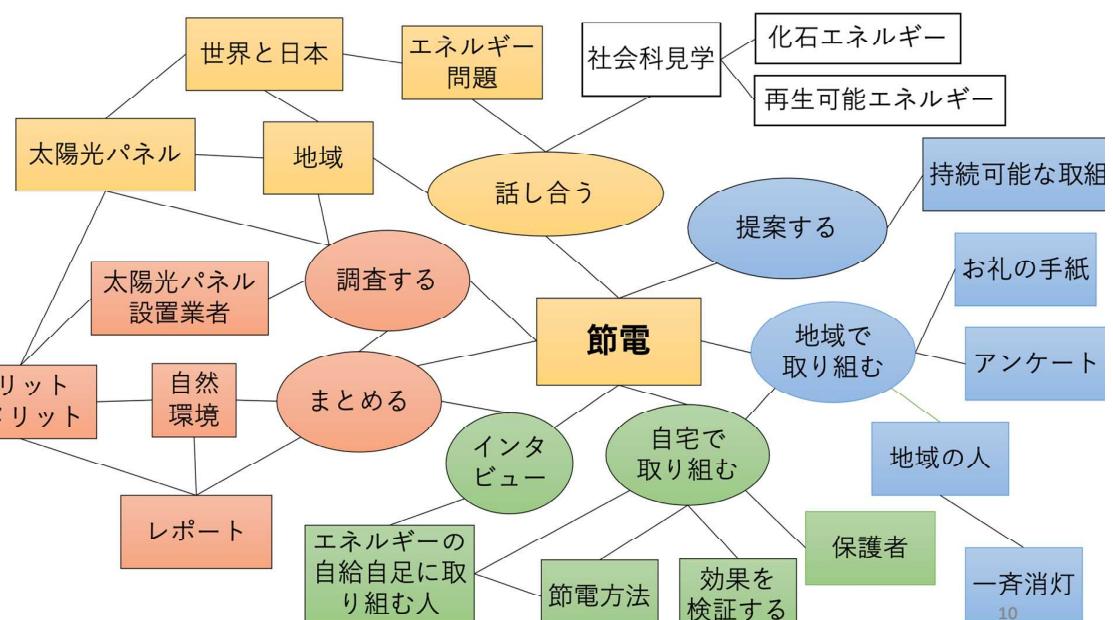
- ①繰り返し働きかけることができる教材
- ②学習活動が広がり、**発展していく**教材
- ③実社会や実生活について、**多面的・多角的に考える**ことができる教材

ウェビングでは2つの過程で行います。

①学習活動について**できるだけ広げる**。（できれば40項目程度）



②広げた内容について、教師が意図した学習を効果的に生み出せるように**学習活動や対象**を選ぶ。



10

## 各学校で定める内容（探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力）

### どのようなことができるようになるか

探究課題の解決を通して育成を目指す  
具体的な資質・能力 第2の3(4)

知識及び技能  
思考力、判断力、表現力等  
学びに向かう力、人間性等

単元の終わりまでに期待する子供の姿

- は、～～ということが分かった
- Aさんは、～～ですごい人だ

私は、これから～～したい

### 第1の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究的な学習の過程において、**課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解する**ようにする。 【知識及び技能】
- (2) 実社会や実生活の中から問い合わせだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようとする。 【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、**積極的に社会に参画しようとする態度を養う**。 【学びに向かう力、人間性等】

①概念的な知識の獲得  
②自在に活用することが可能な技能の獲得  
③探究的な学習のよさの理解  
の三つに関する資質・能力を児童の姿として示して作成

①課題の設定  
②情報の収集  
③整理・分析  
④まとめ・表現  
の過程で育成される資質・能力を児童の姿として示して作成

①自他を尊重する「自己理解・他者理解」  
②自ら取り組んだり力を合わせたりする  
「主体性・協働性」  
③未来に向かって継続的に社会に関わろうとする  
「将来展望・社会参画」  
などについて育成される資質・能力を児童の姿として示し作成

14

「概念的な知識」「将来展望・社会参画」は探究課題によって大きく異なり、具体的なほど、教材研究が進んでいると言えます。

## 探究的な学習として単元が展開するイメージ

### 小単元2 自分たちも節電に取り組もう

小単元2の調査の段階では、課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現の具体的な活動イメージを思い描いていきます。

#### 【課題の設定】

太陽光発電だけでよいのだろうか。

- ① 小単元1で分かったことを基にして、新たな課題を設定する。
- ② 自分との関わりが深まる課題を設定する。

【情報の収集】  
① 太陽光発電施設の見学、太陽光発電パネル設置業者へのインタビューをする。  
② エネルギーの自給自足に取り組む人へインタビューする。  
③ 保護者、地域の人の節電に対する意識調査をする。

#### 【まとめ・表現】

- ① エネルギーと自然の共生をテーマにしてレポートを書く。
- ② 自宅で節電に取り組む。

#### 【整理・分析】

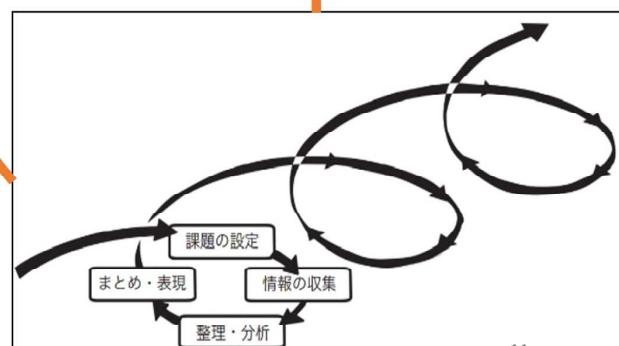
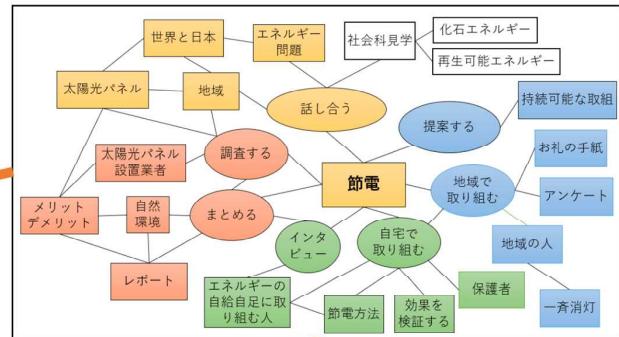
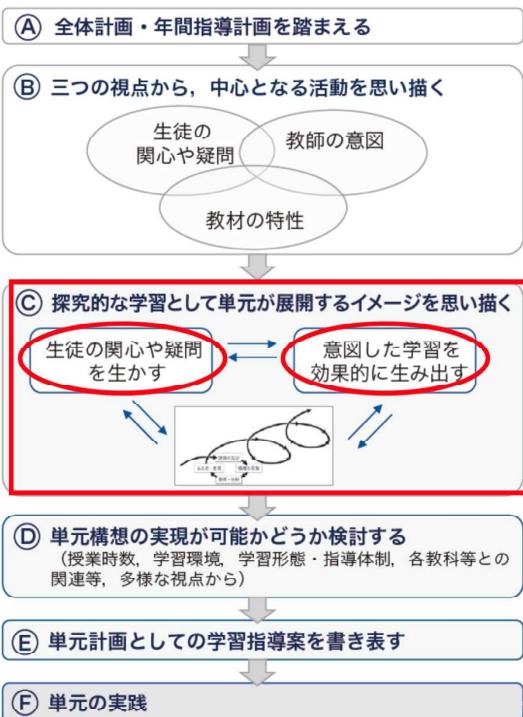
インタビューや意識調査の内容を整理する。  
① 節電方法について整理する。  
② 効果的な節電方法について考える。

15

## 探究的な学習として単元が展開するイメージ

単元を構想する

単元計画を具体的に書き表す

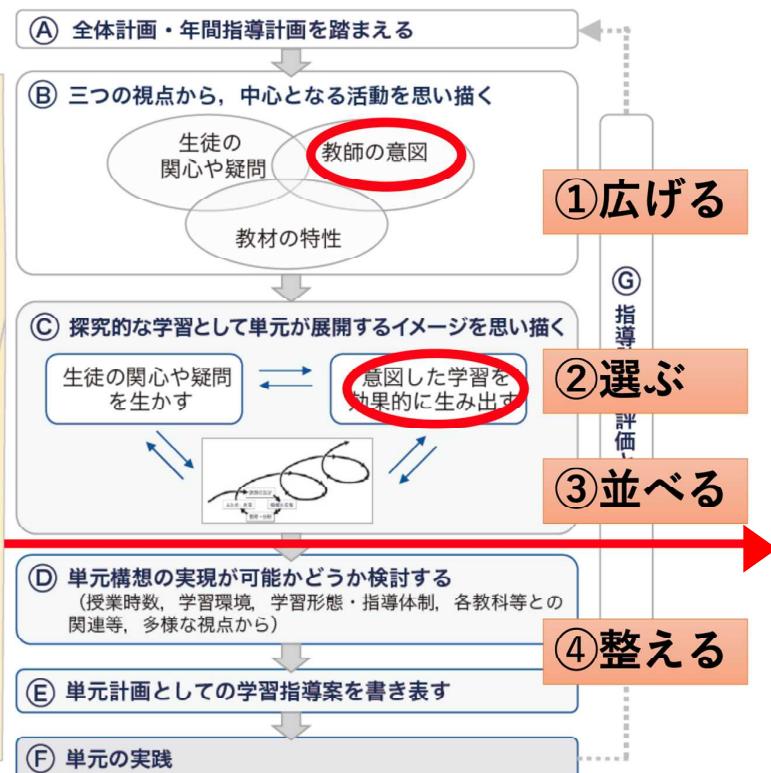


11

## 探究的な学習として単元が展開するイメージ

単元を構想する

単元計画を具体的に書き表す



① 広げる → ② 選ぶ → ③ 並べるまで進んだら **単元の終わりまでに期待する児童生徒の姿** を具体的に考えます。

□ ○○は、～～ということが分かった  
□ Aさんは、～～ですごい人だ

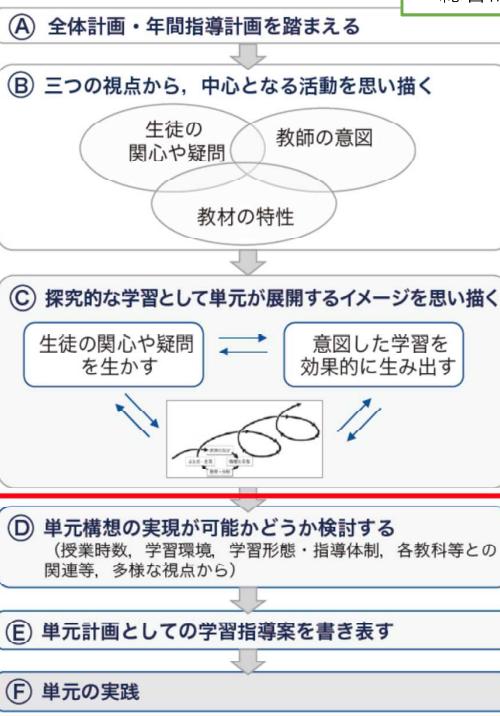
概念的な知識

□ 私は、これから～～したい

将来性・社会参画

## 単元計画を具体的に書き表す

どれだけ丁寧に単元計画を書き出しても、子どもの実態に応じて修正し、学びを生み出そうとする教師の構えが必要です。  
→総合的な学習の中で、探究的な学びを支える教師の姿



### D 単元構想の実現が可能かどうか検討する

まず、単元を構成する諸活動を考えた後に、各活動が児童の意識や活動の自然な流れに沿って展開できるかを検討する。流れに不自然さや無理がある場合には、順番を入れ替えたり、活動の間に別の活動を挟んだり省略したりすることで、単元構想を実現する可能性をより高めることができる。さらに、各活動の授業時数、学習環境、学習形態、指導体制、各教科等との関連等の多様な視点から、単元構想が実際に実現可能かどうかを吟味する。

### E 単元計画としての学習指導案を書き出す

単元の計画を具体的に表現するには、以下のような構成要素が考えられる。

- **単元名**
- **単元目標**
- 児童の実態
- **目標を実現するにふさわしい探究課題**
- **単元において育成を目指す資質・能力**
- 教材について
- **指導計画・評価計画**

### 教科横断的な視点で 教育目標を達成

- 学校研究課題との関連
- 各教科等との関連
- **単元の評価規準**

など

### F 単元の実践

どれだけ丁寧に単元づくりを行っても、必ずしも実現するまではならない場合もある。生徒の実態や状況によっては、予期せぬ事態が発生する。そこで、正しつつ学びを生みだそうとする、柔軟な対応が求められる。

### 内外の教育資源の 効果的活用

単元を構想する

単元計画を具体的に書き表す

## 指導計画として具体的に書き表す

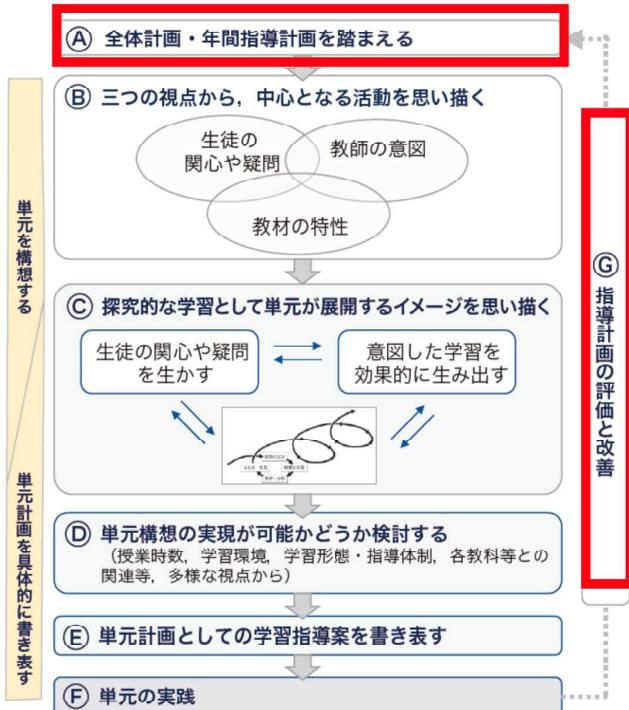
### 探究課題 エネルギー問題と、限りある資源を未来の世代に残すための取組 教科等横断的な学び

課題の設定	小単元1 (15) エネルギー問題について考えよう	小単元2 (20) 自分たちも節電に取り組もう	小単元3 (15) 持続可能な取組にしよう
情報の収集	エネルギー問題と自然環境の共生はできるのだろうか。	自分たちも節電に取り組んで、効果を検証しよう	地域全体で節電に取り組む企画書を作成しよう
整理・分析	様々な発電方法について調べる 太陽光発電施設を見学する 設置業者にインタビューする  国語	効果的な節電方法について調べる エネルギーの自給自足に取り組む人にインタビューする 自宅で節電に取り組む	地域の人の節電に対する意識調査をする 地域アンケート
まとめ・表現	太陽光発電のメリット・デメリットについて整理・分析する	効果的な節電方法について、各家庭の取組状況を踏まえて検証する  数学 (R4全国学調数学)	地域が一斉に消灯する活動に対する地域アンケートを分析する  数学
	エネルギー問題と私たちの暮らしについてをテーマにレポートに書く  国語	自宅でできる節電について、成果と課題を明らかにするために意見交換する	持続可能な取組とする提案をする 主張文、手紙を書く 社会における発電と電力消費についてのパネルディスカッション 国語

単元実施の際は、探究的な学びが実現するために、教科等横断的な学びが展開されているか、また、内外の教育資源が活用されているかを検討することが大切です。

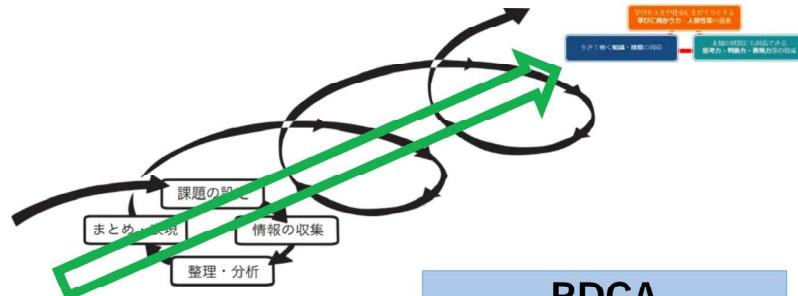
## 指導計画の評価と改善

3学期中に、実施した学習によって資質・能力が育成されたのかについて検討を行い、次年度に向けて単元計画を見直し、改善を図っていくことが大切です。



### 単元目標

様々な発電方法を調査したり電力消費量を減らすための活動に取り組んだりすることを通して、自分たちの暮らしは環境に負荷を与えたたり、限りある資源の消費の上で成り立っていることを理解するとともに、電力消費量を抑えるための実現可能な方法を探し求め、未来の豊かな暮らしを守るために行動できるようにする。



### PDCA 不断の検証改善

### G指導計画の評価と改善

単元の実践を振り返り、単元計画を見直すとともに、次年度の全員計画や年間指導計画の改善に役立てる。

## 学習評価の進め方

単元の評価規準																				
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度																		
<p>①エネルギー問題について、資源には限りがあることや発電方法のバランスが重要であること、生活や暮らしとのつながりが大切であることなどを理解している。 <small>概念的な知識</small></p> <p>②地域への節電の呼びかけを相手や場面に応じた適切さで実施している。 <small>技能</small></p> <p>③エネルギー問題と自分の生活との関係について探究し続けてきたことによって、自らの行為が未来社会に深く関わっていることに気付いている。 <small>探究的な学習のよさ</small></p>	<p>①電気エネルギーを生み出すための発電について、何をどのように調べるか見通しをもって活動計画書を作成している。 <small>課題の設定</small></p> <p>②多様な発電方法について、その仕組みや特徴に関する情報を、幅広く効率的に収集している。 <small>情報の収集</small></p> <p>③自分でできる節電方法について、それぞれのメリット・デメリットを明らかに取り組むことの優先度を明確にしている。</p>	<p>①エネルギー問題について、調べたことの中から伝えたいことを明確にして相手に伝えようとしている。 <small>主体性・協働性</small></p> <p>②太陽光発電が増えることの是非について、異なる意見のよさや他者の考えの価値を受け入れ参考にしようとしている。 <small>自己理解・他者理解</small></p> <p>③アンケートの結果から、</p>																		
<p><b>評価計画</b></p> <p>次年度に向けた評価改善を行うためには、評価計画を立てておくことが大切です。どの場面で、どの資質能力を見取るのか、場面を精選することがポイントです。</p>																				
<p>総括的な評価を行うためにも、児童生徒の姿となって表れやすい場面全ての児童生徒を見取りやすい場面その場面を精選する</p>																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>小単元1 (15) エネルギー問題について考えよう</th> <th>小単元2 (20) 自分たちも節電に取り組もう</th> <th>小単元3 (15) 持続可能な取組にしよう</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エネルギー問題と自然環境の共生はできるのだろうか <small>課題の設定</small></td> <td>自分たちも節電に取り組んで、効果を検証しよう</td> <td>地域全体で節電に取り組む企画書を作成しよう</td> </tr> <tr> <td>様々な発電方法について調べる 太陽光発電施設を見学する 設置業者にインタビューする <small>情報の収集</small></td> <td>効果的な節電方法について調べる エネルギーの自給自足に取り組む人にインタビューする 自宅で節電に取り組む</td> <td>地域の人の節電に対する意識調査をする 地域アンケート</td> </tr> <tr> <td>太陽光発電のメリット・デメリットについて整理・分析する <small>自己理解・他者理解</small></td> <td>効果的な節電方法について、各家庭の取組状況を踏まえて検証する</td> <td>地域が一斉に消灯する活動に対する地域アンケートを分析する <small>技能</small></td> </tr> <tr> <td>エネルギー問題と私たちの暮らしについてをテーマにレポートに書く <small>主体性・協働性</small></td> <td>自宅でできる節電について、成果と課題を明らかにするために意見交換する</td> <td>持続可能な取組についての意見交換する <small>将来展望・社会参画</small></td> </tr> <tr> <td colspan="3">主張文、手紙、アンケート等で意見交換する <small>探究的な学習のよさ</small></td> </tr> </tbody> </table>			小単元1 (15) エネルギー問題について考えよう	小単元2 (20) 自分たちも節電に取り組もう	小単元3 (15) 持続可能な取組にしよう	エネルギー問題と自然環境の共生はできるのだろうか <small>課題の設定</small>	自分たちも節電に取り組んで、効果を検証しよう	地域全体で節電に取り組む企画書を作成しよう	様々な発電方法について調べる 太陽光発電施設を見学する 設置業者にインタビューする <small>情報の収集</small>	効果的な節電方法について調べる エネルギーの自給自足に取り組む人にインタビューする 自宅で節電に取り組む	地域の人の節電に対する意識調査をする 地域アンケート	太陽光発電のメリット・デメリットについて整理・分析する <small>自己理解・他者理解</small>	効果的な節電方法について、各家庭の取組状況を踏まえて検証する	地域が一斉に消灯する活動に対する地域アンケートを分析する <small>技能</small>	エネルギー問題と私たちの暮らしについてをテーマにレポートに書く <small>主体性・協働性</small>	自宅でできる節電について、成果と課題を明らかにするために意見交換する	持続可能な取組についての意見交換する <small>将来展望・社会参画</small>	主張文、手紙、アンケート等で意見交換する <small>探究的な学習のよさ</small>		
小単元1 (15) エネルギー問題について考えよう	小単元2 (20) 自分たちも節電に取り組もう	小単元3 (15) 持続可能な取組にしよう																		
エネルギー問題と自然環境の共生はできるのだろうか <small>課題の設定</small>	自分たちも節電に取り組んで、効果を検証しよう	地域全体で節電に取り組む企画書を作成しよう																		
様々な発電方法について調べる 太陽光発電施設を見学する 設置業者にインタビューする <small>情報の収集</small>	効果的な節電方法について調べる エネルギーの自給自足に取り組む人にインタビューする 自宅で節電に取り組む	地域の人の節電に対する意識調査をする 地域アンケート																		
太陽光発電のメリット・デメリットについて整理・分析する <small>自己理解・他者理解</small>	効果的な節電方法について、各家庭の取組状況を踏まえて検証する	地域が一斉に消灯する活動に対する地域アンケートを分析する <small>技能</small>																		
エネルギー問題と私たちの暮らしについてをテーマにレポートに書く <small>主体性・協働性</small>	自宅でできる節電について、成果と課題を明らかにするために意見交換する	持続可能な取組についての意見交換する <small>将来展望・社会参画</small>																		
主張文、手紙、アンケート等で意見交換する <small>探究的な学習のよさ</small>																				

## 生徒の振り返りシート

### 評価規準 【主体的に学習に取り組む態度】

太陽光発電が増えることは是非について、異なる意見のよさや他者の考え方の価値を受け入れ参考にしようとしている。【自己理解・他者理解】

例1

これからのことを考えると火力発電から太陽光発電に切り替えることが絶対によいと思っていた。力を生み出す化石燃料は限られているし、太陽光発電なら二酸化炭素の排出も気にしなくてよいからだ。でも、山を切り開いてソーラーパネルを置くことで、そこに棲む動物たちの暮らしにも影響があるという反対意見を聞いた時、最近になって、イノシシがまちに何度も現れる理由とつながった。僕は、これまで太陽光発電のよい面しか見ていなかった。だから、次回までに、問題点も調べた上で、自分の考えをはっきりさせたい。

例2

太陽光発電は、環境によりから進めるべきだと思っていた。でも、山を切り開くことで、生き物にとっての生活環境が変わってしまうことも分かった。その意見に対して、○○さんが、火力発電の燃料となる資源の90%以上を外国に頼っていると言っていた。だから、ソーラーパネルの設置は必要だというのもなるほどと思う。ソーラーパネルのほかにも国内における資源を活用している発電方法を見付けたいと思う。

21

## 総合的な学習の時間のカリキュラム（全体計画・年間指導計画・単元計画）

### 全体計画

事例① ○○学校 総合的な学習の時間 全体計画				
「探究的課題」				

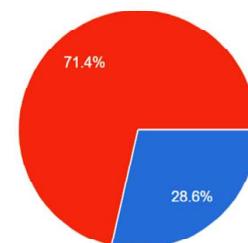
各学校において定める内容  
①探究課題 ②資質・能力

各学校においては総合的な学習（探究）の時間の全体計画などに、探究課題の解決を通して育成を目指す資質・能力を示しています。そこで、授業者一人一人によるアンケートで、カリキュラム・マネジメントの視点から、その資質・能力の達成状況について評価し、次年度の全体計画などの改善に生かしましょう。

担当学年の子供は、学校で定めた【主体性・協働性】に関する資質・能力が身に付いている。

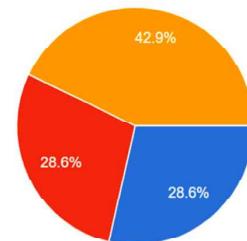


7件の回答



担当学年の子供は、学校で定めた【将来展望・社会参画】に関する資質・能力が身に付いている。

7件の回答



- 身に付いている
- どちらかといえば身に付いている
- どちらかといえば身に付いていない
- 身に付いていない

総合的な学習の時間の内容				
「探究的課題」				

22

## 総合的な学習の時間のカリキュラム（全体計画・年間指導計画・単元計画）

全体計画

事例① ○○学校 総合的な学習の時間 全体計画	
<b>総合的な学習の時間の目標</b> 目標として、新たに取り組むべき問題や課題を明確にし、その解決策を立案する。 <b>探究活動の目標</b> 自由と規範を尊重し、日記に記入してくにこまでもある。自己した興味の興味。 ピンからうきをもつて、問題を解決するための知識や技術を身につける。 何よりも大切なことは、問題解決の過程で、自分自身の意見を述べる。 <b>保護者の目標</b> 保護者と連携して、この子の成長をよりよく理解する。 <b>教員の目標</b> 教員は、この子の成長をよりよく理解する。	<b>学年目標</b> 自由と規範を尊重し、日記に記入してくにこまでもある。自己した興味の興味。 ピンからうきをもつて、問題を解決するための知識や技術を身につける。 何よりも大切なことは、問題解決の過程で、自分自身の意見を述べる。 <b>総合的な学習の時間の目標</b> 保護者と連携して、この子の成長をよりよく理解する。 <b>探究活動の目標</b> 教員は、この子の成長をよりよく理解する。
<b>総合的な学習の時間の目標</b> 保護者と連携して、この子の成長をよりよく理解する。 <b>探究活動の目標</b> 教員は、この子の成長をよりよく理解する。	<b>総合的な学習の時間の目標</b> 保護者と連携して、この子の成長をよりよく理解する。 <b>探究活動の目標</b> 教員は、この子の成長をよりよく理解する。
<b>総合的な学習の時間の目標</b> 保護者と連携して、この子の成長をよりよく理解する。 <b>探究活動の目標</b> 教員は、この子の成長をよりよく理解する。	<b>総合的な学習の時間の目標</b> 保護者と連携して、この子の成長をよりよく理解する。 <b>探究活動の目標</b> 教員は、この子の成長をよりよく理解する。
<b>総合的な学習の時間の目標</b> 保護者と連携して、この子の成長をよりよく理解する。 <b>探究活動の目標</b> 教員は、この子の成長をよりよく理解する。	<b>総合的な学習の時間の目標</b> 保護者と連携して、この子の成長をよりよく理解する。 <b>探究活動の目標</b> 教員は、この子の成長をよりよく理解する。

年間指導計画

単元名	主な学習活動	活動時期	予定される時数									
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
総合的な学習の時間	<p>ばくらの小麦を育てよう（20時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度から育てている小麦を季節に合わせて世話をし、手打うどんに挑戦しよう</li> <li>・小麦の生長や畠の周囲の移り変わりから自然を見つめ、自然を感じよう</li> </ul>	<p>ばくらの小麦を育てよう（32時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・失った小麦をできる限り自分たちの手で収穫し、小麦粉を作ろう</li> <li>・昔の道具を使って手打うどんの作り方を学ぼう</li> <li>・お世話になった皆さんに手打うどんをごちそうしよう</li> </ul>	<p>身近な伝統文化を受け継ごう（18時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で大切にされている伝統文化を見付けよう</li> <li>・獅子舞とお囃子の保存に取り組み○○さんに話を聞こう</li> <li>・地元の人の願いを受け継ごう</li> </ul>									

单元計画

- ・単元名
  - ・単元目標
  - ・児童の実態
  - ・教材について
  - ・単元の評価規準
  - ・指導計画・評価計画など

改善する場合、全体計画、年間指導計画、単元計画のどこを見直すかを考えて、次年度に向かうことが大切です。

5. 指導計画（50時間）			
	ねらい・学習活動（時数）	知 思 感	指導のポイント等
1 採染をめに生徒がおおきに使う(15)	・職人に話を聞くなどして採染ぞめを知り、採染ぞめを行う学習計画を立てる。(3)	①	・採染ぞめに出会い場として、職人を指す。 ・職人に対するために必要な情報は何かを考える。
	・自分がどうでらるために必要な情報を集める。(6)	②	・色々な調査方法を知る。 ・KJ法の手法やウェブингなどで情報を整理する。
職人をめに使う(20)	・試し刷りを行い、職人の作品と比較する。(4)	①	・本職で感じたことを文に書いて残すようにする。 ・職人から作品を評価してもらお場をもつ。
	・体験を振り返り、次の課題をもつ。(2)	②	・試し刷りの結果と職人さんの言葉をもとに考える。 ・課題解決に向けた情報の收集を行う。
採染をめに使う(20)	・自分で自分の手ぬぐいに向けて学習計画を立て。(2)	①	・1回目と比較して、成長を感じられるようにする。
	・工場見学や職人の話を聞き情報を集めるなど、にぎやかに「採染」を決めて準備する。(10)	②	・職人の思いを繋く機会をもつ。
採染	・採染ぞめ手ぬぐいを染める。(6)	③	・これまでの体験や職人の言葉をもとに考える。
	・体験を振り返り、次の活動への思いを高める。(2)	②	
3 採染	・採染ぞめやそのよさを伝えたための学習計画をまとめる。(2)	②	